

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 市丸 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

＜男子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52

＜女子＞

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

本校の5年生は、運動部やスポーツクラブに入っている児童が57%である。また、運動やスポーツを週に1～2日以上している児童が92%とほとんどの児童が日々運動していることが調査結果から分かった。また、1日の運動時間も、2時間以上(31%)・30分以上(54%)と8割以上の児童が1日にしっかりと体を動かしていることがわかる。学校の取組として、月・水・金曜ランランタイム(5分間走)、火曜ピョンピョンタイム(短縄・長縄)、木曜ポンポンタイム(ボール投げ)、雨の日はキッズダンスを実施している。そのことにより、さらに年間を通して体力向上に取り組むことができた。また、朝のランランタイムでの走る距離が増えたことや、ボール投げや縄跳びの回数が増えた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

全校での取組みとして、体育科の学習の前にその単元にあった簡単な運動を実施している。本校が小規模校であることを生かし、各学年の達成目標確認した上でより深い活動ができるように合同体育を実施している。下学年においては、手本となる動きを見ることができ、運動能力をさらに高めることにつながった。全校では、「めあて」「振り返り」の活動を発言や記述で毎時間行なった。結果、児童が毎時間意識して活動することができた。今後も引き続き「めあて」「振り返り」の活動は継続していく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

毎朝ランランタイム(ランニング)、ピョンピョンタイム(短縄・長縄)、ポンポンタイム(ボールラリー)に取り組んでいる。また、ランランタイムでは、児童が目標をもって取り組めるように今使っているマラソンカードにコースを追加するなどの工夫をする。また、活動内容を学校通信や学校保健委員会などで保護者や地域に向けて啓発している。小中での取組みとして、5年生のバスケットボール交流会に向けての指導や6年生の陸上記録会に向けての指導を毎年中学校教員に行ってもらっている。